No.51　2009年4月

富山県 中央植物園だより

ドリアス

メコノプシス・ベトニキフォリア　*Meconopsis betonicifolia* Franch.

青い花が咲くメコノプシスは「ヒマラヤの青いケシ」と呼ばれ、1990 年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」で紹介されて一躍有名になりました。青い花が咲くメコノプシスは数種類あり、ベトニキフォリアはその中の一種で、中国南西部の高原に自生しています。

「青の競演」　撮影 / 西井直樹さん（第 11 回私の植物写真展応募作品）

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

４月～６月のサンライトホール展示

「コシノヒガンザクラ －高岡が育んだ桜の文化財－」

３月13日(金)～４月29日(水)

平成21年（2009年）は高岡市が開町400年という節目を迎えると同時に、高岡古城公園周辺に伝わるコシノヒガンザクラが発見されてから80年になるなど、コシノヒガンザクラについても節目の年になります。

また、最近の中央植物園の調査により、高岡古城公園小竹藪に植えられているコシノヒガンザクラが、全国に広く普及しているコシノヒガンザクラとは明瞭な差異があり、独自の系統であることが判明しました。このことは2008年度日本桜学会で発表し、全国のサクラ関係者に紹介しました。このたび開催する「コシノヒガンザクラ―高岡が育んだ桜の文化財―」では、その特徴などを写真などを使って紹介します。

コシノヒガンザクラの花

高岡古城公園内のコシノヒガンザクラ

今年のサクラ　“Cherry of the Year 2009”「コシノヒガンザクラ」

富山県中央植物園では県民の皆さんにより広くサクラを知っていただくために、2006年から「今年の桜」を選定し、紹介しています。それに合わせて、富山県中央植物園友の会では植物画部会の協力により、「今年の桜」の絵葉書を作成して販売しています。2009年の「今年の桜」は企画展でも紹介する「コシノヒガンザクラ」になりました。絵葉書も完成し、１セット（４枚組み）200円で販売していますので、ご来園の記念に是非お買い求めください。

「コシノヒガンザクラ」の絵はがき

「ソメイヨシノと夜桜観賞」

４月上・中旬の４日間、ソメイヨシノの満開に合わせて開催します。開催日は富山気象台がサクラの開花宣言を発表した日に決定しますので、ホームページなどでご確認ください。

昨年の夜桜

「ハンギングバスケット展」

４月25日(土)～５月６日(水・祝)

ハンギングバスケット協会北陸支部との共催で４月25日に開催するハンギングバスケット講習会の作品を展示してコンテストを開催します。

第30回「春のラン展」　5月3日(日)～5日(火・祝)

エビネ

フウラン

「春のラン展」は、毎年エビネの開花時期に合わせて富山県蘭協会との共催で開催しています。色とりどりのエビネをはじめ、フウランやイワチドリなど日本にも自生しているランの仲間や洋ランの仲間も展示します。エビネやフウランなど東洋ランと呼ばれるランの仲間は、洋ランとは異なる可憐な花や斑入りなど葉の美しさを楽しみます。会期中は富山県蘭協会会員による栽培講習会やランの即売もあります。

講栽培講習会
「ランの植え替えと管理」

5月4日（月・祝）　午後
5月5日（火・祝）　午後
詳しくは最終ページの催し物のご案内をご覧ください。

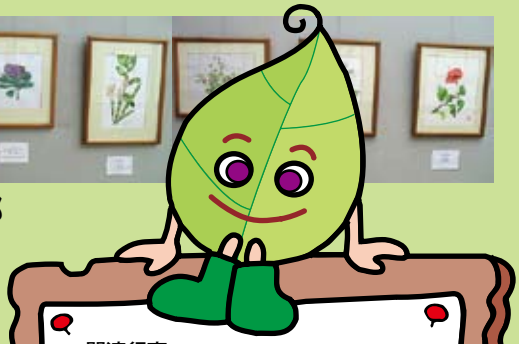
会期中はランの即売もあるよ!

昨年の出品作品の一部

「私の植物画展」

5月8日(金)～6月3日(日)

これまで、3月に開催していた「私の植物画展」の開催時期を変更することになりました。全国各地から応募いただいた植物画作品を展示します。植物の様子を忠実に描いた植物画の世界をお楽しみください。作品は4月20日まで受け付けます。詳しくは植物園までお問い合わせください。期間中に講習会「初めての植物画」も開催しますので、植物画を始めてみたい方はお申込みください。



関連行事
「植物画講習会Ⅰ　はじめての植物画」
日時：5月23日(土)・24（日）
10:00～16:00　◆要申込
場所：中央植物園研修室
定員：50名　参加費：500円
初心者を対象に開催します

「さつき展」

6月5日(金)～7日(日)

地元愛好家の「寿さつき会」との共催で、会員が丹精込めて栽培しているさつきの盆栽を展示します。

栽培方法などわからないことがあれば、会場でお気軽にご相談ください。

期間中はさつきの盆栽の即売も行います。

昨年の「さつき展」の様子

「私の植物写真展」

6月19日（金）～7月15日（水）

5月31日に富山県写真家協会との共催で開催される植物写真教室で撮影した写真と一般公募により募集した植物写真を展示します。

＊応募方法は植物園までお問い合わせください。

応募作品の中から選んだ作品を植物園だよりの表紙に使わせていただいています。

植物写真教室
「やさしい花の撮り方」◆要申込
5月31日（日） 13:00 ～ 16:00
場所／研修室・園内
講師／富山県写真家協会会員
定員／40名　参加費／無料

活動報告（12～2月）

県民植物学講座⑤「植物の耐寒性と温暖化」

12月6日（土）

富山大学の和田直也先生を講師に迎え、植物の耐寒性と温暖化についてお話をしていただきました。

クリスマスフェスタ

12月13日（土）・14日（日）

夜には園内のあちらこちらがライトアップされ、雰囲気を演出しました

昨年に引き続きフェスタの夜を盛り上げてくれたT-GRACE CHOIRの皆さん

大勢の入園者が参加したクリスマスリース作り

演奏と合唱を披露してくれた鵜坂保育園の園児たち

クリスマスフェスタも今年度で3回目を迎え、600人を超える入園者で賑わいました。滝沢卓さん、富山古楽協会、T-GRACE CHOIR、鵜坂保育園の皆さんによるコンサートやクリスマスリース作りを楽しんでいました。

「干支にちなんだ植物展」

12月19日（金）～1月28日（水）

平成20年の干支「子」と21年の干支「丑」に因んだ植物を中心に干支にちなんだ植物を実物と写真などで紹介しました。

「20年度研究発表展」

1月30日（金）～2月28日（水）

職員が日ごろ行っている調査・研究についてパネル展示で紹介しました。2月1日（日）には発表会も開催されました。

「第19回花と緑のフェスティバル」

2月20日（金）～22日（日）

開会式の様子

「第19回花と緑のフェスティバル」では様々な展示や教室が行われました。天気にも恵まれ大勢の方が来園されました。

植物園 トピックス

■博物館相当施設に指定

20 年 12 月に中央植物園が「博物館に相当する施設」に指定されました。これからも、植物の展示、教育普及、調査研究など充実した植物園を目指していきます。

■兼本、志内両主任が共同研究のため訪中

（財）国際花と緑の博覧会記念協会の研究助成を受けて、兼本正主任と志内利明主任が中国雲南省のトウツバキの調査のため 2 月 3 日から 3 月 12 日まで中国雲南省に滞在して、中国科学院昆明植物研究所と共同研究を行ってきました。

■魯元学さん来園

共同研究のため中国科学院昆明植物研究所の魯元学さんが（財）国際花と緑の博覧会記念協会の研究助成により来園し、2 月 17 日から 3 月 24 日までトウツバキの組織培養技術を用いた増殖に関する研究を行いました。

■大原主任のサクラの解説書出版

中央植物園の大原隆明主任の「サクラハンドブック」が文一総合出版から出版されました。野生種 11 種類のほか園芸品種 52 種類を開花順に配列し、その見分け方のポイントなどがわかりやすく紹介されています。この一冊で一般的に植栽されているほとんどのサクラがわかります。植物園内でも販売しています。

■ 3 月 1 日から JAF 割引が適用されるようになりました。

JAF（（社）日本自動車連盟）の会員証を入園口で提示すると 5 名様まで 2 割引で入園することができるようになりました。

研究紹介◎『ヤダケとスズダケの類似は“他人の空似”か？』　主任　高橋一臣

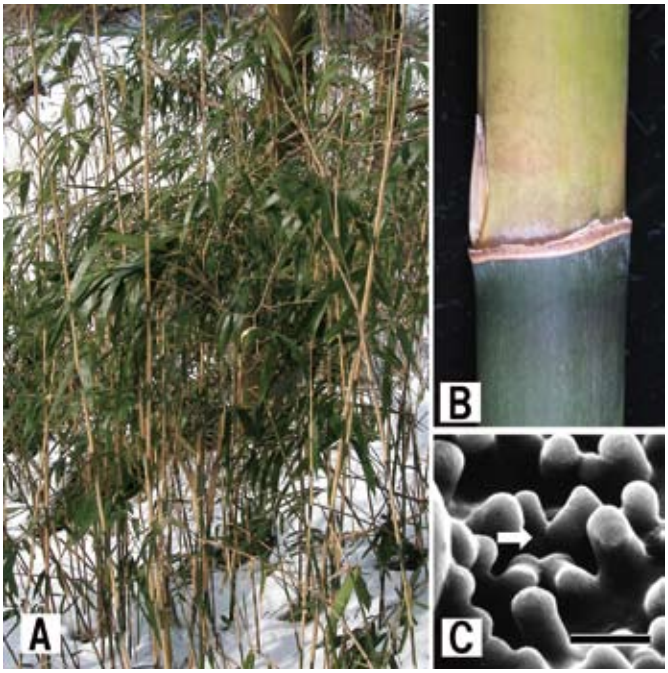
ヤダケ（*Pseudosasa japonica*）は、人里近くの山野にみられる身近なササ類の一種です（写真 A）。かつて矢を作るために各地で栽培され、本来の自生地は不明とされています。

ところで、ヤダケの外見的な特徴は、いくつかの点でスズダケに類似しています。スズダケ（*Sasamorpha borealis*）というのは富山弁の“すすたけ”（＝チシマザサ）とは異なり、太平洋側の山地に広く分布するササです。ヤダケとスズダケは、稈鞘（かんしょう＝竹の皮）が節間のほぼ全体を覆う、節が膨らまない（写真 B）などの特徴を共有します。また、葉の質感にもやや似たところがあります。

両者は、現在では異なる属に分類されるのがふつうです。外見的な類似は、単なる“他人の空似”にすぎないのでしょうか？

走査電子顕微鏡で葉身下面の表皮を観察すると、スズダケでは気孔の周囲の乳頭突起が気孔に向かって顕著に折れ曲がるという特徴がみられます。そして、同じ特徴が、ヤダケにもみられることがわかりました（写真 C）。葉の表皮構造にも共通な特徴がみられることは、両者の間に何らかの類縁関係があることを示唆します。

この特徴は、日本産ヤダケ属のもう一つの種であるヤクシマヤダケ（*P. owatarii*）にも認められました。中国にはさらに 17 種ほどのヤダケ属が分布しますが、葉の乳頭突起のパターンがどうなっているのか、興味がもたれます。



ヤダケ　A：全形。富山市白鳥城址にて　B：稈の節の部分。稈鞘は除去してある　C：走査電子顕微鏡で観察した葉身下面の乳頭突起。矢印は気孔を示す。スケールは 10 μ m

催し物のご案内

■企画展示　サンライトホール（9:00 ～ 17:00）

「コシノヒガンザクラ ―高岡が育んだ桜の文化財」

～ 4 月 29 日（水）

高岡市の開町 400 年にあわせ高岡古城公園に伝わるコシノヒガンザクラについて紹介しています。入園料が必要です。

「ハンギングバスケット展」

4 月 25 日（土）～ 5 月 6 日（水・祝）

ハンギングバスケット講習会で作成した作品をエントランスに展示してコンテストを行います。作品鑑賞には入園料が必要です。

「第 30 回春のラン展」

5 月 3 日（日）～ 5 月 5 日（火・祝）

エビネや洋ラン、東洋ランなど約 250 点のランを展示します。会場内ではランの即売も行われます。入園料が必要です。

「私の植物画展」

5 月 8 日（金）～ 6 月 3 日（水）

公募により一般から応募された植物画作品を展示します。今年度から開催時期を変更しました。入園料が必要です。

「さつき展」

6 月 5 日（金）～ 6 月 7 日（日）

地元「寿さつき会」の会員が日ごろから丹精を込めて栽培したさつきを展示します。入園料が必要です。

「私の植物写真展」

6 月 19 日（金）～ 7 月 15 日（水）

写真講習会と一般から公募した作品を展示します。入園料が必要です。

■観察会・講座・講習会

★県民植物学講座「富山の植物」

①「高岡古城公園に伝わるコシノヒガンザクラ」◎要申込

4 月 18 日（土）　13:30 ～ 15:30

場所／研修室

高岡古城公園に伝わるコシノヒガンザクラについて中央植物園の大原隆明主任が紹介します。

定員／ 50 名　参加費／無料

②「富山の竹を活かす」◎要申込

5 月 16 日（土）　13:30 ～ 15:30

場所／研修室

竹の研究者として著名な中央植物園の内村悦三園長が竹について紹介します。

定員／ 50 名　参加費／無料

★ハンギングバスケット講習会

◆要申込

4 月 25 日（土）　13：30-15：30

場所／ドリアスホール

講師／ハンギングバスケット協会北陸支部会員

定員／ 25 名

参加費／ 3000 円

作品は 4 月 25 日～ 5 月 6 日のハンギングバスケット展で展示させていただきます。

★栽培講習会「ランの植え替えと管理」

5 月 4 日（月・祝）　13：30-15：00

5 月 5 日（火・祝）　13：30-15：00

場所／ドリアスホール

講師／富山県蘭協会会員

定員／各 50 名

参加費／入園料が必要

植物画講習会Ⅰ「はじめての植物画」

◆要申込

5 月 23 日（土）・24 日（日）

10：00-16：00

場所／研修室

講師／豊田路子・岡田宗男（植物画家）

定員／ 50 名　参加費／花代 500 円

＊二日間連続の講習会です。

植物写真教室「やさしい花の撮り方」

◆要申込

5 月 31 日（日）　13:00 ～ 16:00

場所／研修室・園内

講師／富山県写真家協会会員

定員／ 40 名　参加費／無料

デジカメ講座「花を撮ろう」

6 月 28 日（日）　9:45 ～ 15:30

場所／中央植物園、富山県 IT センター

定員／ 16 組　参加費／無料

富山県 IT センターとの共催行事で、午前中は植物園で花を撮影し、午後は IT センターで　オリジナル植物図鑑を作ります

◆申込については富山県 IT センター（076-444-7887）へお問い合わせください。

■月例行事

日曜植物案内

第 1、2 日曜日　13:30 ～ 14:30

集合場所／サンライトホール

参加費／入園料が必要

ガイドボランティアや職員が見頃の植物などを解説します。

植物園オリエンテーリング

4 月 19 日（日）

10：00 ～ 11:00　受付

植物に関する問題を解きながら楽　しく園内をまわる行事です。

集合場所／サンライトホール

参加費／入園料が必要

◎要申込　事前の申込が必要です。前日までに「電話」でお申込みください。

◆要申込　事前の申込が必要です。申込は 1 ヶ月前から往復はがき・FAX・ﾒｰﾙ (botanic@bgtym.org) で受け付けます。

★印はボランティア養成講座です

友の会会員募集中！

■特典　会員証を示しサインするだけで入園できます。／会報や植物園だよりが送られてきます。／多彩な友の会の行事に参加できます。／印刷物を割引で購入できます。

■会費　年額 3,000 円。5 月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法　植物園の入園窓口で随時受け付けています。

富山県中央植物園　入園案内

開園時間　9:00～17:00（入園は16:30まで）
（11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで）
休園日　毎週木曜日、年末年始（12月28日～1月4日）

入園料　大人（一般および大学生）600円
団体料金（20名以上）480円
高校生以下無料
冬季入園料（12月～2月）
大人（一般および大学生）400円
団体料金（20名以上）320円
高校生以下無料

交通案内　JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.51

編集・発行／富山県中央植物園
〒939-2713　富山市婦中町上轡田42　TEL 076-466-4187　http://www.bgtym.org
印刷／大東印刷株式会社